

パン用小麦生産拡大中

小麦粉といっても様々で、お菓子向けの薄力粉やうどん向けの中力粉など、用途によって適した小麦粉は異なります。パン向けには強力粉が用いられますが、これまで国内には北海道で栽培された小麦以外にパンに適した品種はありませんでした。



「ゆめかおり」のパン



「ゆめかおり」の穂

最近になって、パンに適した小麦品種がいくつか開発され、山梨県では「ゆめかおり」の栽培特性が優れていることから、平成25年度に奨励品種に採用しました。

「ゆめかおり」を使用して焼き上げたパンはもちりとした食感が特徴で、パンの加工業者の方々からも高い評価を頂いています。

すでに平成24年から北杜市内を中心に栽培されており、当センターでも展示ほの設置や栽培講習会の開催など生産振興に向けた取り組みを展開しています。さらに県内各地域に栽培が拡大し、地産地消につながると期待しています。

おいしい豚肉 甲州富士桜ポーク

山梨県畜産試験場では、7年の歳月をかけ、パークシャー種とデュロック種による合成系統豚「フジザクラDB」を平成24年に完成させました。この「フジザクラDB」の雄と、同試験場が開発したランドレース種系統豚「フジザクラ」の血を継ぐ雌を交配して生産された豚肉が「甲州富士桜ポーク」です。

この「甲州富士桜ポーク」は、飼養管理方法や給与飼料が定められた生産マニュアルに基づき生産され、厳しい基準に合格した豚肉だけが「甲州富士桜ポーク」として認証、販売されます。

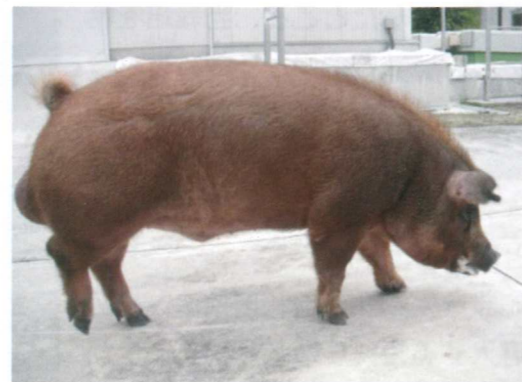
「甲州富士桜ポーク」の特徴は、①肉のきめが細やかで柔らかい食感、②口の中ですとろける脂肪、③保水性が高くジューシーな口当たり、④適度な霜降りが入っている 等、美味しさの要素が詰まった豚肉です。

生産体制が整うまでの間は限定販売されていましたが、今年6月から一般販売が開始される予定です。

今後は、生産農家や関係機関が連携し、齊一生の高い豚肉を安定的に生産できるよう進めていきます。



甲州富士桜ポーク



富士桜DB



甲州富士桜ポークロゴ

山梨県普及センターだより

Yamanashi Agricultural Extension Service Information

■ 編集/発行 山梨県総合農業技術センター ■ 住所 甲斐市下今井1100 〒400-0105
 ■ Tel.0551-28-2496 ■ Fax.0551-28-4909
 ■ URL.http://www.pref.yamanashi.jp/sounou-gjt/
 ■ E-mail.sounou-gjt@pref.yamanashi.lg.jp

No.25
平成26年6月20日発行



果樹におけるJA営農指導と普及活動との連携



ジベ処理適期把握研修



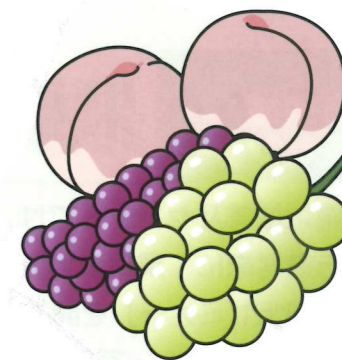
シャインマスカット予備摘粒研修

果樹技術普及センターでは、JA営農指導員と果樹担当普及指導員の指導力向上を目的に、JA全農やまなしと連携し、果樹担当合同研修会を開催しています。

今年はこれまでに、4月17日「モモの害虫防除」、5月1日「ぶどうデラウエアのジベレリン処理適期把握」、6月3日「ぶどうシャインマスカットの予備摘粒」、6月5日「ぶどう甲斐のくろまる、サニードルチェの花房管理」について、果樹試験場の研究員などが講師となり、これまでに4回開催しました。

毎回、多くの営農指導員や普及指導員が参加し、熱心に研修が行われている他、各地域の生育状況や病害虫発生状況など、きめ細かな情報交換が行われています。

今後も、新技術や新品種の早期普及・定着と、ALL山梨として、高品質果実生産に繋げる管理指導の徹底に向け、合同研修会の充実を図っていきます。



専門学校 山梨県立農業大学校

平成27年度の入学生を募集します

21世紀の農業・農村社会を担うにふさわしい実践力と優れた経営感覚を備えた農業経営者の育成を目指す専門学校山梨県立農業大学校では、来年度の入学生を募集します。併せて、学校説明会も次のとおり行います。

学校説明会

(年5回 養成科・専攻科共通)

6月21日(土) 7月26日(土)
8月22日(金) 9月13日(土)
11月1日(土)



大型特殊資格試験



生物工学実験授業風景



モモの花が咲く頃の農場

養成科	専攻科	出願期間	試験期日	合格発表日
推薦入試	—	平成26年9月22日(月)~10月3日(金)	10月23日(木)	11月5日(水)
前期入試	前期入試	平成26年11月10日(月)~11月21日(金)	12月9日(火)	12月24日(水)
後期入試	後期入試	平成27年2月2日(月)~2月13日(金)	2月24日(火)	3月5日(木)

■ 問い合わせ 専門学校山梨県立農業大学校

〒408-0021 北杜市長坂町長坂上条3251
TEL.0551-32-2269 FAX.0551-32-2034 http://www.pref.yamanashi.jp/noudai/

農業法人の経営安定に向けた支援



経営研修会(中北農務事務所)

近年、規模拡大や経営の効率化を目指す農家や、異業種から農業に参入した企業による、法人の設立が増えてきています。これらの農業法人は耕作放棄地解消や雇用の創出、若者の研修受け入れ先など地域農業を支える担い手にもなっています。普及センターでは、各農業法人がさらに経営安定し発展出来るように、支援を行っています。



普及センターでは、各農業法人がさらに経営安定し発展出来るように、支援を行っています。

昨年度には中北農務事務所管内の農業法人を参集し、税理士を講師に招いて「決算書を用いた経営改善」と題して研修会を開催しました。当日は7法人14名が参加し、決算書の読み方、経営改善を行うための考え方や手法を中心に研修を行い、活発な質疑応答もされました。

今後とも、地域農業の中心となる担い手を確保育成するため農業法人への支援を行って参ります。



果樹技術向上セミナーを開催中

峡東地域普及センターでは、就農して5年以下の方や就農を希望する方を対象に、果樹栽培の基礎的な技術や知識を学ぶための「果樹技術向上セミナー」を開催しています。

今年度のセミナーでは、品目ごとに栽培技術を学ぶ現地講習会を、ブドウコースで4回、モモコースで5回予定しています。また、果樹栽培や農業経営に関する基礎知識を講義形式で学ぶ全体講習会を8回予定しています。なお、本年度より全体講習会は、全県の45歳未満の新規就農者等を対象とした「新規就農者集合研修」と合同で開催します。

今年度は、32名の受講申し込みがあり、5月8日に開講式、5月14日にモモの摘果講習会を実施しました。

現地講習会では、実際に畑に出て作物に触れながら講習を行うとともに、積極的に質問を出してもらうことで、理解を深めていただいています。また、参加者同士で意見交換をしてもらうなど、地域での仲間づくりにつながるよう努めています。

今年度の受講申し込みはまだ受け付けていますので、「就農して間もないので基本的な果樹栽培について学びたい」といった希望がありましたら、峡東地域普及センターまでお問い合わせください。



開講式



モモの摘果講習会

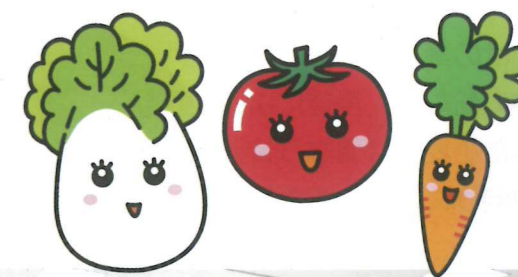
兼業農家も参加しやすい基礎的栽培講習会を始めました

峡南地域普及センターでは、JA西八代・JAふじかわとともに、今年3月から毎月1回の基礎的栽培講習会を始めました。各農協が主催し、講師は峡南地域普及センター職員が務めます。週末に農作業を行う兼業農家の方が農業技術を学べる機会を作りたいとの考えから、兼業農家が参加しやすいよう土曜日に開催しています。

毎回、講習会の前に農協職員と意見交換し、参加者の栽培状況や技術レベルに合わせた内容を検討するとともに、参加者からの要望にも随時応えるようにしています。

また当日は、農協の営農指導員だけでなく購買担当職員も出席することで、その後の問い合わせにも即時に対応できるようにしています。

当センターでは、今後も農家の方々の実情や課題に合わせて、新しい支援方法や機会を作っていきたいと考えておりますので、普段の農作業で感じている疑問・ご意見等についてお気軽にご連絡ください。



基礎的栽培講習会

野菜の作期拡大に繋がる、年3作・1回施肥栽培の普及推進

富士北麓地域では、無霜期間が5月下旬～10月下旬の約5ヵ月であるため栽培期間が短く、土地生産性が低いという課題がありました。

富士北麓の野菜生産者でつくる富士山野菜生産者協議会では、年3作・1回施肥栽培を導入し、生産性を高めていく取り組みを推進しています。

この栽培方法は、従来の作型に加えて霜期間にトンネルを利用することで、同一ほ場で年間3回転させる作型です。さらに、3作とも同一マルチを利用し、即効性と緩効性の肥料を組み合わせた1回施肥を行うことで、省力かつ効率的な管理が可能となります。

昨年、総合農業技術センター・岳麓試験地と連携して栽培検討会を開催したところ、当栽培を希望する会員が多数おり、今年度は、現地実証を行う中で、栽培のポイントとなる時期に勉強会を開催し、普及・定着に向けて支援することになりました。

年3作・1回施肥栽培は、施設を使わず土地利用効率を高めることができるため、今後、導入する会員が増えていくことが期待されます。



1作目のトンネル栽培(ブロッコリー)



年3作栽培検討会の様子